

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課	
		実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・「過剰な捕獲・採取」「里山や草原の管理の衰退」「外来種の移入・分布拡大」「気候変動の影響」などにより、野生動植物の生息環境が悪化している。
 ・このため、生物多様性を【知り】、人と人を【繋ぎ】、生き物を皆で【守る】、を多くの主体と協働し、希少種をはじめとする多様な種を安定的に存続する必要がある。

2 事業目的

生物多様性や生態系が暮らし・社会・経済の基盤であることを県民が学び、人と人とのつながりのなかで、あらゆる主体が自然環境に配慮して行動する、「人と自然が共生する信州」の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①希少種やその生息環境の保全に、多様な主体が協働する体制の構築**
- ・いきものを保全する活動団体へ、企業等から技術・資金・人材面の支援で協働する体制を推進するためのガイドブックを制作
 - ・県民全体が生物多様性保全への機運を醸成するため、知って、学んで、楽しむ、親子フィールド学習会を開催
- ②希少野生動植物の保護対策を実施**
- ・絶滅のおそれのある野生動植物について、県民・事業者等へ理解を広める基礎的な指標「レッドリスト」の改訂に着手
 - ・保護回復事業計画の策定から概ね5年を経過した計画の評価検証を実施
 - ・ライチョウ保護スクラムプロジェクトとして、ライチョウの生息状況を調査するとともに、登山者などから目撃情報を収集する
- ③生物多様性保全の促進のため、地域が取り組む外来生物対策を支援**
- ・地域の対策が連携・協働して実施されるよう、外来種対策講習会を実施
 - ・県内に生息範囲を拡大しつつある外来生物の状況を把握し対策に反映するため、定着段階の変化をモニタリング

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	親子フィールド学習会参加者数	人	—	28	—	50	↑	50	達成	前年度の参加者数を上回ることを目指して設定	
②	保護回復事業計画策定及び検証数	種	26	29	↑	30	↑	30	達成	2027年度目標38種を達成するため、R5に1種、R6以降2種のペースで実施	
③	外来種対策講習会の開催	回	0	1	↑	1	→	1	達成	防除を主体的・継続的に実施する地域と密接に関わる市町村職員に向けて、年1回の講習を実施	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1②	人と自然が共生する社会の実現	生物多様性保全パートナーシップ協定締結数(累計)	件	2021 (R3)	17	2022 (R4)	19	2023 (R5)	27	2027 (R9)	34

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	30,035	△ 860	29,175	24,961	23,774	7.3
R4年度	0	26,575	△ 2,446	24,129	9,405	19,578	7.3
R3年度	0	20,354	△ 600	19,754	8,140	15,660	7.3

事業番号	06 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

7 主な取組実績と成果

①希少種やその生息環境の保全に、多様な主体が協働する体制の構築

・県が仲介役となって人的・資金的支援が必要な保全団体と支援を希望する企業のマッチング（協定締結）を行うことにより、多様な主体との連携による生物多様性保全を推進。

【R5実績】

新規8件の協定締結【協定制度開始後累計（H27～R5年度）：27協定】

- ・奥裾花自然園の保全：（株）長野ダイハツモーターズ、鬼無里ブナの森を育てる会、長野市、長野県
- ・シナイモツゴ：（株）ホンダカーズ長野中央、ぽんすけ育成会、長野県
- ・オオルリシジミ：（株）アクティオ、飯島建設（株）、寿高原食品（株）、（株）フジテック、（株）守谷商会、更級農業高等学校、姨捨の棚田オオルリシジミ保存会、長野県



【パートナーシップ協定締結式の様子】

②希少野生動植物の保護対策を実施

・R2～R4に養成した高度技術者とともに、ライチョウの生息を脅かすサル（ニホンザル）の動向調査や追い払いを実施

場所：中央アルプス国立公園（木曾駒ヶ岳周辺） 追い払い実施期間：8/1～28

生息状況（環境省公表）H30：1羽確認→R5.7：71羽確認



【サル追い払いの様子】

③生物多様性保全の促進のため、地域が取り組む外来生物対策を支援

・外来種の駆除活動を地域において主導的な立場で進める市町村担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会を開催。

内容：効果的な駆除方法や他地域の対応事例の紹介、対策技術の講習等

R5実績：30市町村、8地域振興局が参加

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	親子フィールド学習会参加者数	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>・令和4年度の実施（1回）時に想定を上回る申込があったことから、令和5年度は回数を2回に増やして実施した。 実施日：①7月30日 ②8月6日</p> <p>・各回定員30人で募集したところ、いずれも定員を超えて申込があった。（当日キャンセルがあったため実績数は減） 参加者数：①21人 ②29人 合計50人</p>							
指標②	保護回復事業計画策定及び検証数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>保護回復事業計画：計画策定後概ね5年ごとに、順次、評価検証を実施。（内、計画策定：15、評価検証14） R5年度：評価検証（1種 ヤシャイノデ）（R4年度：3種 チャマダラセセリ、ゴマシジミ、シナイモツゴ）</p>							
指標③	外来種対策講習会の開催	R4年度推移	↗	R5年度推移	→	達成状況	達成
<p>・外来生物の防除を主体的・継続的に担う市町村職員に向けて、オンラインによる講習会を実施。 実施日：12月21日</p>							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・中央アルプスに出没するサルについては、人間を避けるように活動場所や活動時間帯が変化しており、追い払いに一定の効果が認められたため、継続して実施する。（R3～継続）国・地元市町村等と連携して保護・増殖活動を行うことにより、ライチョウの生息数は増加（推定個体数 R4：41羽、R5：71羽）している。今後も、ライチョウを始めとする希少種の保護対策を効果的に講じるためには、生息状況等の情報を把握・整理が必要である。

・生物多様性保全パートナーシップ協定制度の開始後、着実に協定件数が増加しているものの資金面、人材面で課題を抱える保全団体が依然あることから、今後もパートナーシップ協定の締結を通じて、協働による生物多様性保全に取り組む必要がある。

・特定外来生物の防除は、地域主体による防除活動が支えとなっている。継続的かつ効果的な防除対策を推進するため、研修会による防除技術の習得や、防除活動（計画策定含む）に対する国の助成制度等の活用など、活動への継続的な支援が重要である。

(2) 事業改善の方策

【多様な主体との連携による生物多様性の保全】

・「長野県版レッドリスト」の改訂（R5着手、R8公表予定）

（希少種の最新の生息状況を把握し、必要な情報を公開することにより、県民等の生物多様性の保全への関心を高める。）

・生物多様性保全ポータルサイトに新たなコンテンツを追加し、情報発信を強化

・生物多様性保全パートナーシップ協定の新規締結の拡大（環境基本計画目標 協定締結数（累計）：34件（R9年度））

・長野県外来種対策ハンドブックや解説動画等を活用した普及啓発、指導者育成研修会の実施

事業番号	06 05 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生物多様性保全事業		部局	環境部	課・室	自然保護課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	人と生きものパートナーシップ推進事業		1,051 千円	7,369 千円	9,293 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	【拡】生物多様性保全体制構築事業	委託	いきものを保全する活動団体を、技術・資金・人材面の支援で社会全体で支える「生物多様性保全パートナーシップ協定」を締結し、協働による保全を推進 新規協定締結数：8件		
2	【拡】ホットスポット保全対策事業	委託 補助金	希少種やホットスポットの保全に直結する対策を実施 御嶽山 田の原湿原再生委託（調査・対策検討）、環境学習・希少種保全（補助金6件）		
3	生物多様性ながの魅力発信プロジェクト	委託	将来の保護活動の担い手となる小学生を対象に体験型学習会を実施 親子フィールド学習 2回開催		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	希少種戦略構築事業		9,647 千円	8,316 千円	8,235 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	【新】レッドリスト改訂事業	直接	県民・事業者等への理解を広める基礎的な指標として、絶滅のおそれのある野生動物植物をまとめた「長野県版レッドリスト」を改訂するための検討を開始 R8改訂を目指し、改訂検討会議(2回)・専門会議(6回)による内容検討を実施		
2	希少野生動物植物保護対策事業	直接	希少野生動物植物保護条例に基づき策定した保護回復事業計画の活動状況を評価し、計画の妥当性を検証する 保護回復事業計画の評価検証 1種（ヤシャイノデ）		
3	ライチョウ保護スクラムプロジェクト	委託	絶滅の危険度が高まっているライチョウの生息環境調査及び目撃情報投稿アプリ「ライボス」の運用により、多様な主体との連携による保護対策の実施 生息環境調査委託 1件、ライボス保守管理委託 1件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	外来生物戦略構築事業		4,500 千円	3,271 千円	3,555 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	外来生物対策普及事業	委託	人体への健康被害防止、農林水産業被害や生態系被害の軽減のため、外来種対策の啓発、適切な駆除方法、活動の継続的実施を普及する 外来生物対策普及講習会 参加：30市町村、8地域振興局		
2	外来生物防除対策事業	委託	県内に侵入や定着が拡大している外来哺乳類（アライグマ等）の目撃情報の把握や、捕獲個体の解剖分析により、各地域における定着段階をモニタリングし、防除・環境整備対策を促進する アライグマ分布拡大状況把握調査委託料 1,496千円		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	自然探勝会事業	0 千円	319 千円	451 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自然探勝会の開催	委託	障がいのある方へ自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 実施実績：長野支部（国営アルプスあづみの公園）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	県自然環境保全地域等標識板設置事業	462 千円	303 千円	2,240 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	標識版の撤去・更新	委託	自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介するための案内標識板等の改修 老朽化・倒壊している標識の撤去 112基	